

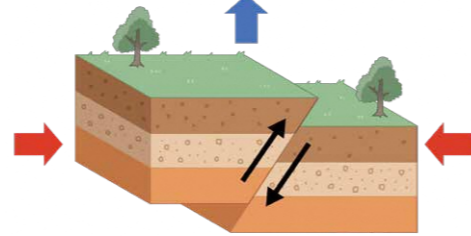
地震が起こるのはなぜ

日本周辺では、海底の太平洋プレート、フィリピン海プレートが陸のプレートの方に年に数センチの速度で動いており、陸のプレートの下へ沈み混んでいます。このひずみが限界に達したときに元に戻ろうとして跳ね返り、地震は発生します(海溝型地震)。また陸地の地殻にもプレートの運動により、いたるところにずれが生じています。「活断層」と呼ばれ、このずれの動きも地震の発生原因となります(活断層型地震)。

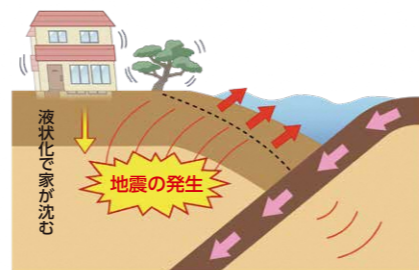
❖ 日本周辺のプレート



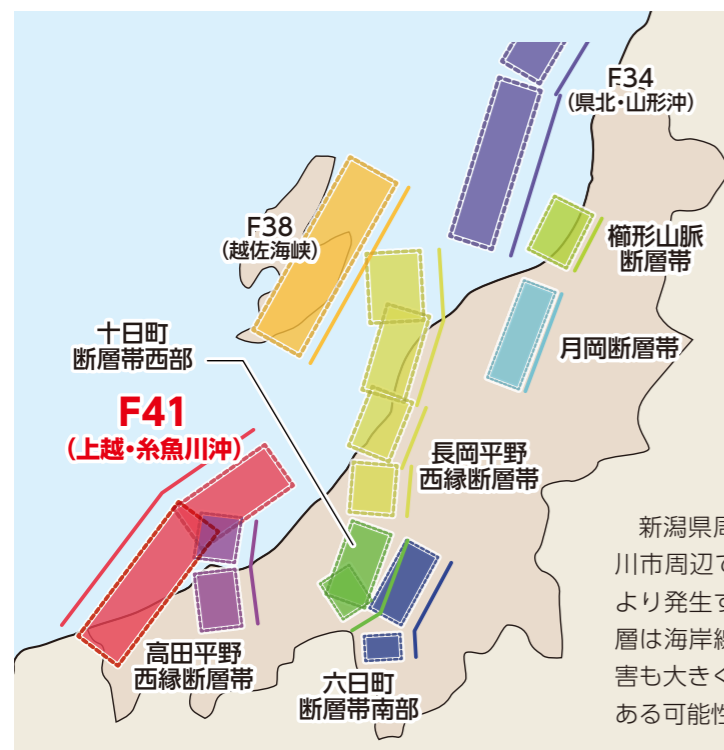
❖ 活断層型地震



❖ 海溝型地震

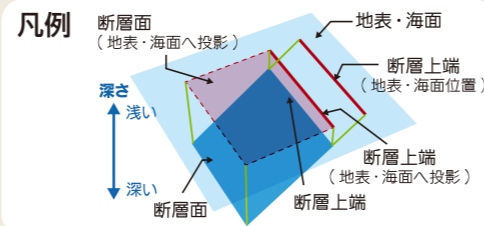


糸魚川市で想定される地震と津波



新潟県地震被害想定調査結果報告書

詳細は新潟県ホームページ



新潟県周辺にはいくつかの断層が存在します。そのうち糸魚川市周辺では「F41」(上越・糸魚川沖)と呼ばれる断層のずれにより発生する地震とそれによる津波を想定しています。この断層は海岸線に近く、並行して走っていることから想定される被害も大きく、津波は地震発生後、最も早い場合、5分以内で影響がある可能性があります。

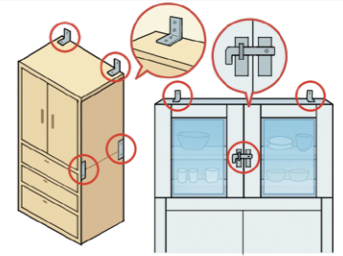
新潟県「新潟県地震被害想定調査結果報告書」(https://www.pref.niigata.lg.jp/site/bosai/jishinhoukou.html)をもとに糸魚川市作成

突然起こる地震や津波に日ごろから備えるポイント

緊急地震速報や津波警報などは、地震発生時に直ちに身の安全を確保するためのものです。一方で日ごろから地震などによる被害を減らし、身の安全を確保するために備えておくポイントがあります。

❖ 家の中の安全対策をする

強い揺れがあったときには家具やテレビなどが転倒したり、棚などからものが落下したり、窓ガラスや食器棚のガラスなどが割れたりして大変危険です。家具を固定して倒れないようにする、ガラスには飛散防止フィルムを貼るなどの対策を徹底しましょう。



❖ 「ハザードマップ」で避難場所などをチェック

この「防災ハンドブック」の「ハザードマップ」32P～には、指定緊急避難場所や指定避難所が掲載されています。まずは住んでいる場所と普段いる場所(勤務先など)の避難場所などの確認をお願いします。併せて平成31年発行の「糸魚川市津波ハザードマップ」も確認して、いざというときにスムーズに避難できるようにしておきましょう。



❖ 災害用備蓄品や非常用持ち出し品などの確認

地震により電気や水道などのライフラインが止まっても、ある程度は自力で生活できるよう飲料水や非常食などを備蓄しておくことが大切です。また、自宅が被災して避難所で過ごさなければならない場合もあります。

「災害の「備え」チェックリスト」8Pで日ごろから備蓄が必要なものの用意と、避難所生活に必要なものがすぐに持ち出せるようにリュックなどに詰めておきましょう。



❖ 家族の連絡方法などを確認しておく

家族が別々の場所にいるときに地震や津波が発生した場合に備えて、日ごろから家族で安全な場所の確認と、待ち合わせ場所や非常時の連絡方法などについて話し合い、「わが家の防災メモ」裏表紙に記録しておきましょう。

また、災害時には電話などが殺到してつながりにくなります。それを避けるために通信各社は固定電話やスマートフォン、インターネットによって「災害用伝言サービス」を提供していますので、あらかじめ「各種防災情報はここから」4Pで利用方法を確認しておきましょう。



❖ 防災訓練に参加する 地域の防災 24P

地震などの災害が発生したときに、あわてずに身を守るためには実際に自分の体を動かして経験しておくことも必要です。地域や学校、職場などで実施される防災訓練はそうした実戦力を身につけるための絶好の機会です。積極的に参加しましょう。



政府広報オンライン「緊急地震速報」と「津波警報」等 いざそのとき、身を守るために! (https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201410/4.html)をもとに糸魚川市作成